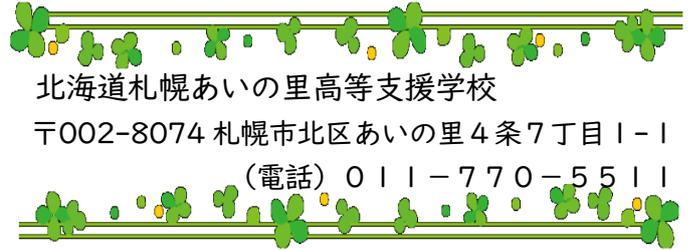


# 青 藍

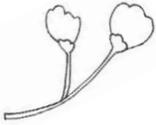
令和6年度 第4号 2025年3月24日発行



北海道札幌あいの里高等支援学校

〒002-8074 札幌市北区あいの里4条7丁目1-1

(電話) 011-770-5511



## 一年を振り返って

副校長 中川 正規

3月月は学年の節目の時期です。先日3年生が卒業し、1・2年生は、それぞれ1年を修了します。

この1年を振り返ると、それぞれの生徒の成長を感じることができることにうれしさを感じます。

今日と昨日を比べてもなかなか変化には気付きませんが、毎朝の挨拶で、小声だった1年生が3月になると笑顔で「おはようございます」と言えるようになっていたり、「この製品は私が仕上げました」と自信たっぷりに作業製品を説明したりする生徒など、一人一人に様々なできるようになったことを感じることができます。

部活動では、様々な大会に出場し、勝利することで喜びを感じることはもちろんですが、負けたときも、「仲間を信じて最後まで頑張ることができた」「仲間と最後まで声を掛け合って取り組んだ」「周りの励ましに温かさを感じた」など活動を通して、前向きな気持ちを持つことができているのも成長の一つではないかと考えます。

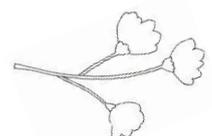
本校では、「生徒が主役の学校」として、一人一人が幸せを感じながら学ぶことができるよう取り組んでいます。生徒が自信を持ち、自分の取り組んでいることが分かり、活動の役割を自覚して、そのことへの達成感や充実感を感じることができるような活動を日々積み重ねていくことを学校全体として進めています。

そうした地道な積み重ねが、1年たってみると、一人一人の生徒の成長の一つとして確認できる、そんな時期がこの3月の時期であると考えています。

今から1年前の私は、どうだったのか。生徒に限らず、保護者の皆様、職員も含め、自身の成長を大小にかかわらず振り返ることで、次の成長に向かって前向きな気持ちを持ちつつ新年度を迎えられると思います。

「新しい年度は、何を目標に取り組んで行こうか」「どんなことにチャレンジしてみようか」などそれぞれの気持ちを新たに持つことができるようこの年度末の生徒との関わりを進めたいと思います。

保護者の皆様、地域の皆様におかれましては、この1年間の本校の教育活動に御支援をいただいたことに感謝申し上げます。次年度も生徒一人一人が前向きな気持ちで様々な活動に没頭できるような学校づくりを進めます。引き続き御理解と御協力をお願いします。



# 令和6年度卒業証書授与式の御礼～感謝と旅立ちを祝い～



令和7年3月7日(金)卒業証書授与式が終了し、第7期生がこの学び舎を巣立っていきました。本校に入学してから3年、「とても早かった」、「すごくさみしい」、「友達とまだまだ一緒にいたかった」3学期の生徒たちの声です。卒業までの時間は刻一刻と過ぎていきましたが、その日々を最後までやりきろう、楽しもう・・・そんな思いを持ち、100レク、学年レク、3年生を送る会、卒業式までを全力で駆け抜けました。

私は3年間学年主任という立場で生徒の皆さんの成長を見守らせていただきました。1年、1年と成長していく姿を目の当たりにして過ごしてきましたが、この卒業式は3年間の成長が凝縮された、集大成と呼ぶにふさわしい素晴らしい式でした。

式では、一人一人が緊張感を持ち、これまでの学びを全て発揮しようという姿が入場からありました。証書授与では、校長と目を合わせて礼をし、証書を受け取る様子、送辞では後輩からのお礼、送る言葉をしっかりと受け止め、答辞ではこれまでの学びを振り返り、感謝の気持ちを全員が持ちながら、Sさんの答辞を自分ごととして感じながら聞いていました。式歌ではこれまで培ってきた表現力を精一杯発揮し、圧巻の歌声を体育館中に響かせ、呼びかけでは届けたい方に思いを馳せ、心を込めて力強く言葉を発することができました。退場までしっかりとやり遂げるその姿に、旅立ちを祝ううれしさとさみしさが私たちの胸の中にこみ上げました。まさに集大成と呼ぶにふさわしい卒業証書授与式となりました。このような素晴らしい式をやり遂げてくださった卒業生の皆さんに心より感謝申し上げます。

最後になりますが、保護者の皆さま、これまで3年間本校教育活動に御理解と御協力をいただきましたことに感謝申し上げます。私たち3学年職員一同はこれまで生徒の皆さんの支援・指導に携わってきましたが、そこには保護者の皆さまの大いなる支え、助けがありました。私たちは保護者の皆さまの御理解や御協力なしには教育活動をなすことはできません。生徒、保護者、職員の思いや努力がつながり続けたことで生徒たちの成長が高められ、素晴らしい卒業式を実現することができました。保護者の皆さまに心より感謝申し上げます。

3年間のこの学校での学びを土台に、これから先も夢や希望を持ち、豊かで幸せな人生を自分らしく歩んでいけるよう職員一同祈り、応援しています。3年間本当にありがとうございました。

(文責:3学年主任 鈴木 奈都)



## あいチャレンジ～資格・検定への挑戦

「あいチャレンジ」では、検定などに挑戦する生徒を応援するため、本校を会場に行う各種資格・検定料の半額を進路・卒後指導振興会費より補助しています。今年度行われた検定試験の合格者は次の通りです。

【日本漢字能力検定】9級(3名)8級(3名)7級(5名)6級(12名)5級(7名)4級(3名)

3級(1名)準2級(5名)2級(3名)

【実用英語技能検定】5級(5名)4級(2名)

【プレゼンテーション作成検定】1級(1名)

【文章入力スピード認定試験】(2名)

【日本語ワープロ検定】4級(9名)3級(6名)準2級(2名)2級(3名)準1級(1名)1級(2名)

【日本情報処理技能検定】2級(1名)準1級(1名)1級(1名)

【日本情報処理技能検定 表計算】3級(1名)

## 生徒の活動実績(R6年度)

### 3【環境・流通サポート科】

令和6年度アビリンピック北海道大会(障害者技能競技大会)ビルクリーニング部門 銀賞:3年生

パソコンデータ入力部門 銀賞:2年生

第44回全国障害者技能競技大会(アビリンピック全国大会)ビルクリーニング部門 :3年生

【普通科】 S-TEAM教育推進事業成果発表会「探求チャレンジ・アジア」出場:2年生

北海道地学協働アワード2024 優良賞:1年生

第28回ボランティア・スピリット・アワード ボランティア・スピリット賞:2年生

【サッカー部】 第23回北海道チャレンジドサッカー大会:準優勝

第14回北海道高等養護学校サッカー大会:優勝

第8回小野寺真悟杯特別支援学校フットサル大会:優勝

第3回全国特別支援学校フットサル大会:準優勝

第23回北海道チャレンジドフットサル大会 ・フリークラス:優勝 ・フレンドリークラス:優勝

第10回全国知的障害高等部サッカー大会2024「もうひとつの高校選手権」 :7位

### 【バスケットボール部】

第24回札幌市障がい者スポーツ大会(すずらんピック2024):出場

第3回北海道高等支援学校バスケットボールチャンピオンシップ大会 女子:優勝

第21回北海道FIDバスケットボール選手権大会 女子:3位

【卓球部】 第24回札幌市障がい者スポーツ大会(すずらんピック2024) 1位:1名 2位:1名 3位:2名

第36回北海道障がい者卓球競技大会 2回戦進出:2名

## 「学校運営協議会」からの御意見を踏まえ

「学校運営協議会」は、コミュニティ・スクール（以下CS）とも呼ばれています。このCSの目的は、学校と保護者、地域住民等が地域の課題を共有し、共通の目標・ビジョンを持って一体となって地域（本校）の生徒たちの成長を支える仕組みです。

本校では令和4年度に導入され、今年で3年目を迎えました。今年度も、6月、11月、2月の計3回、CSを開催し、学校運営や教育活動に関わる各学年・学科の学習や取組に対して、御指摘や御助言をいただいております。

委員の皆様からは、「ボランティアを通して、自分を客観的に捉えることや、社会のために何ができるか理解できるように支援してほしい。」

「学校が地域との関わりを求めているが、大切なことは生徒が地域のメンバーとして実感も  
てることや、地域が生徒をコミュニティの一員として感じられること  
である。」など、たくさんの御意見をいただくことで、私たちの教育活動を後押しされています。

次年度も、地域と共に歩む教育活動等の充実に向け、CSからの御意見を参考にしながら、生徒が主役の学校づくりを進めて参りますので、皆様からの御支援・御協力を引き続き、よろしくお願い申し上げます。

（文責：教頭 三浦貴徳）



左：【委員長の北海道教育大学安井教授】



下：【本校CS委員の皆様】